

(1) 日本国特許庁 (JP)

(2) 実用新案出願公開

(3) 公開実用新案公報 (U)

昭63-79808

(5) Int.Cl.¹
A 45 D 33/00識別記号
J - 6671-3B
L - 6671-3B(4) 公開 昭和63年(1988)5月26日
審査請求 未請求 (全2頁)

(6) 考案の名称 コンパクト容器

(7) 実願 昭61-175918
(8) 出願 昭61(1986)11月14日(9) 考案者 東 隆哉 大阪府大阪市平野区加美西1丁目10番12号 釜屋化学工業
株式会社内

(10) 出願人 釜屋化学工業株式会社 東京都台東区浅草橋5丁目23番6号

(11) 代理人 弁理士 鈴木 ハルミ

(12) 実用新案登録請求の範囲

蓋体と底体とから成り、該底体内周に一体的に取り付けた中枠に複数の中皿の収納部と仕切部材の収納部をそれぞれ設けるとともに、中皿収納部の側壁に仕切部材を嵌合する嵌合部を形成し、該嵌合部には端面に嵌合部を形成した仕切部材を着脱自在に取り付けるようにしたことを特徴とするコンパクト容器。

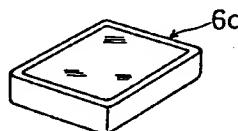
図面の簡単な説明

第1図は、本考案の一実施例を示す分解斜視図、第2図a, b, cは、同上、中皿の形状の一例を示す斜視図である。

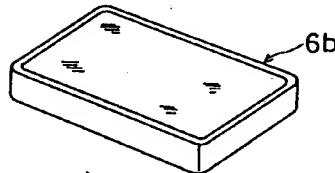
1 ……蓋体、2 ……底体、2 a ……中皿収納部、
2 b ……嵌合部、2 c ……仕切部材収納部、
4 ……仕切部材、4 a ……嵌合部、6 a, 6 b,
6 c ……中皿。

第2図

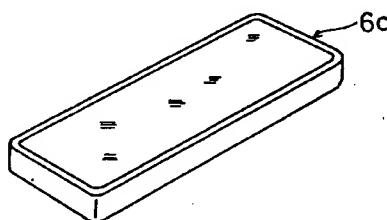
(a)



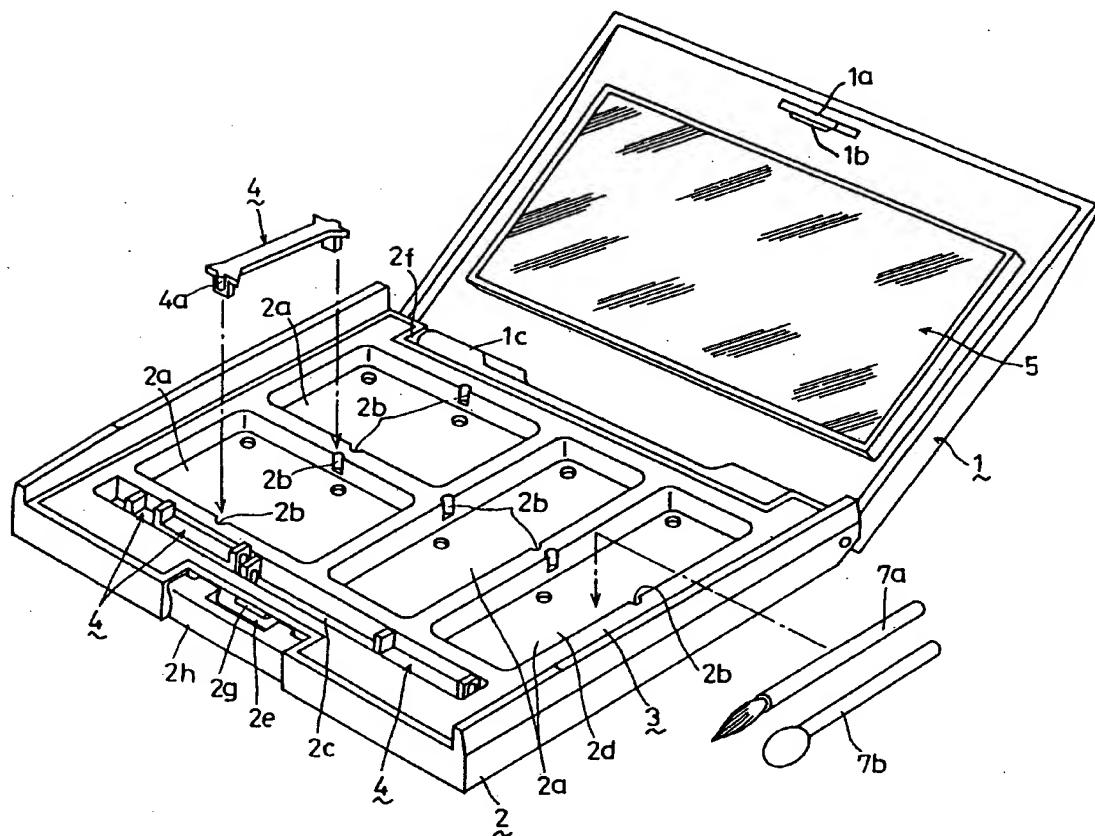
(b)



(c)



第1図



BEST AVAILABLE COPY